

昭和四十七年度

アメリカ遠征

山田公平

昭和四十七年三月一日、塾柔道部から計十七名アメリカ遠征に向いました。清水直臣先生、児玉先輩を団長に、友田監督、四十四年卒業の近藤、芳賀、内海先輩、それに学生九名が選抜され下安と期待のアメリカ遠征でした。

試合で勝てない塾柔道部にとってこのアメリカ遠征が部員の気持ちに大きく自信を与えるものと思い部員の積極的な働きにより実行されました。自分らの手でこの遠征を実現しようと考えていましたが、計画が進むにつれ先輩方の暖かい援助を受け、とにかく何とかなるだろうというところまできました。遠征前は注意事項のくり返し、合宿所で生活している調子でやられては困るといった部員幹部の心使いから細かい事項、マナー、例えば、ステュワーデスには手を出さぬ事、等々がハッキリと部員達に伝えられ準備完了。いよいよ出発。

全員無事に笑顔で帰国できる事を望みました。自分にとっては勝負よりこの経験が大切だと考えていましたが、勝つのと負けるのとでは大きな差があることをアメリカで感じました。アメリカの柔道は強さが大切で力が技を圧しつぶすといった柔道です。それでも勝たなければ「技が大切」も「精神がどうのこうの」ということは全く聞き入れられず、要するに強いものからのみ得るところがあるという考えに徹している様な気がしました。

サンノゼでは慣れない環境と緊張で勝てる相手にも思う様にいかず、十三人戦で六対五という辛勝でした。暑さ、

マットの道場、疲れ、緊張といった悪条件が重なったのは確かですが、アメリカ柔道の違いに驚かされました。腕に響かない柔道、とてつもない所から出てくる力、それに日本柔道を食つてやろうという圧力に押され、我々にとつてつらい試合でした。

試合後は双方の緊張も取れサンノゼ部員とも仲良くなり、通じているかいなかにかかわらず英語をペラペラと話し、楽しい毎日でした。三月六日から友田先輩一行五名がアイダホ州に、芳賀先輩一行三名がユターラー州に各自行き、町道場で盛んな歓迎を受けました。カルフォルニア州を除いてアメリカ西部の柔道はまだまだ指導が行きとどかず、日本柔道というと神秘的な印象がある様な気がします。日本柔道は強いものという考えが定着しており、こちらも自信をもって何でもできます。

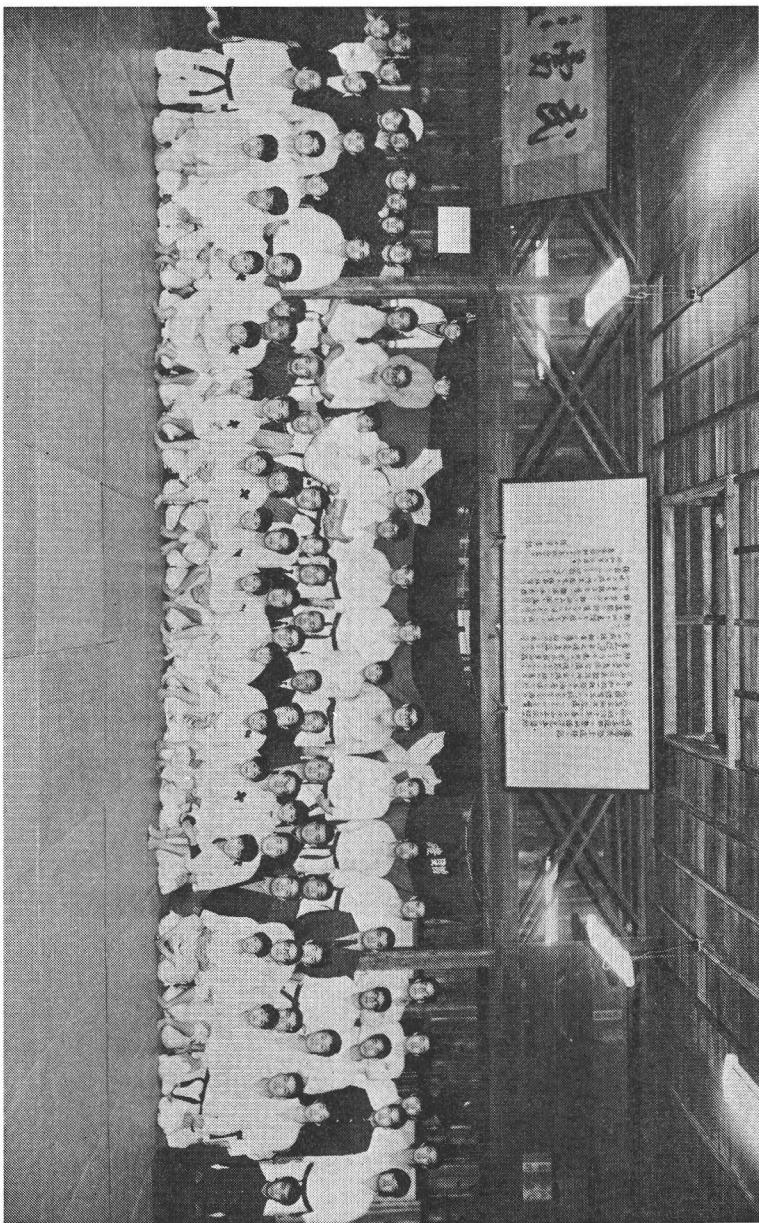
三月十一日、ロサンゼルスに全員集合し、翌日オールロサンゼルスチームと対戦。気分的にもゆとりができ、環境にも慣れ、十二人戦で第一試合九対〇。続く第二試合（強豪チーム）にも七対二で勝ちました。

三月十三日からはハワイで四日間過し、ハワイ有段者会の盛んな歓迎を受けました。数組に分かれて町道場で指導と稽古をし、三月十七日無事羽田に到着しました。二週間のアメリカ遠征、今では楽しい印象が強く残っています。

この経験が部員達の柔道に生かされたと確信するとともに、部員達の心に強く思い出として残るものだと思います。

昭和四十七年度の試合はライバルの早稲田と東京大会、選抜大会及び早慶戦と三回も対戦し、接戦ながらも惜敗しました。

一方、個人戦では山田（公）が春の東京大会軽中量級の部で準優勝し、又秋の東西対抗予選を勝ち抜き、全日本学生大会に出場しました。慶應にとり久々の出場ながらも第一回戦で優勝者光本（天理大）と対戦し敗退しました。



昭和四十七年卒業生送別記念

昭和四十七年度の柔道部は充分に勝つ実力があつて勝てないといった塾生の欠点が出た年でもあります。相手をのみ込むといった意氣が欲しいと強く感じられました。

この年の卒業生である中で副将の小林(正)、山本、大城、近藤、藤原のレギュラーとしての活躍と稻留、全、山内、宗岡、石垣、吉田らの部への貢献も特に必記したいと思ひます。

役員

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|---------|----------|-------------|----------|---------|--------|--------|
| 幹部 | 監主 | 副主 | 副幹 | 副副 | 合宿所主 | 務務 | 連盟委員 | 日吉高校ヨーチ | 普通部ヨーチ | 中等部ヨーチ |
| 師 | 將督 | 將務 | 事務 | 〃 | 田藤 | 田水 | 谷垣立岡桑原田原 | 足金浜大山 | 吉澤高宗 | 渡辺 |
| 範長 | 督將 | 務將 | 務事 | 〃 | 藤田 | 水賀 | 城本田 | 石岡 | 佐清 | 氣清 |
| | 員 | | | 主幹 | 田林 | 直健 | 喜朝 | 友正 | 佐友 | 吉 |
| | | | | 幹副 | 藤田 | 正健 | 幸正 | 信公 | 輔臣 | 一三 |
| | | | | 副幹 | 水田 | 典 | 重幸 | 信義 | 毅 | 二 |
| | | | | 副副 | 水賀 | (兼体育会兼任委員) | 重幸 | 直義 | 一 | 雄 |
| | | | | 合宿所主 | 田藤 | 典(兼体育会兼任委員) | 信信 | 直公 | 三 | 英昌 |
| | | | | 務務 | 水田 | | 雄雄 | 正幸 | | 雄美 |
| | | | | 連盟委員 | 谷垣立岡桑原田原 | | 和和 | 健正 | | 昌男 |
| | | | | 日吉高校ヨーチ | 足金浜大山 | | 和幸 | 君俊 | | 吉英 |
| | | | | 普通部ヨーチ | 吉澤高宗 | | 幸君 | 雅君 | | 高宗 |
| | | | | 中等部ヨーチ | 渡辺 | | 吉 | 吉 | | 吉 |

渡吉澤高宗足石金浜大山小近山友清佐清氣
 渡田原桑岡立垣谷田城本林藤田水藤水賀
 雅君俊君和和幸重喜朝正幸公正健
 二雄英昌男美雄信重信典(兼体育会兼任委員)
 恵幸(兼志木高校ヨーチ)
 先輩十五年連続皆勤賞 大島(先輩)
 皆勤証

幼稚舎二十三名、普通部九名、中等部九名、日吉高校
 七名、志木高校一名、大学十八名
 先輩 小玉、石渡、成毛(秀)、高崎、成毛(雅)、広瀬、成毛(韶)、野口、奥田、高田、植村、太田、杉浦、大島、山崎、友田、林、清水、佐藤、滝沢、朝倉、森、手嶋、大沢、渡辺、芳賀、内海、植草、熊谷(二十九名)

労賞
 功勞賞 桜田裕、西島良信、岡田雅博
 選手章 豊田雅一、齊藤守正、岩佐裕、羽鳥順、山田百
 体育会功勞賞選手章受賞者

幼稚舎ヨーチ 対馬好一

寒稽古

一月八日から二週間、綱町道場で朝五時半より寒稽古が行なわれた。連日稽古に熱が入り、二十一日のお汁粉会には九十六名の皆勤者が表彰された。

精勤証 幼稚舎三名、中等部一名

努力賞 野口(先輩)

十五年連続皆勤賞 大島(先輩)

皆勤証

郎、佐久間陽三、山田裕夫

第三回アメリカ遠征

第三回目のアメリカ遠征は、児玉一男氏を団長に総勢十七名で三月一日から十七日間、西海岸サンノゼ大学を中心で各地で稽古、試合を行なった。四日にはサンノゼ大学と第一戦を行ない、六対五の僅差でかろうじて、勝ちをおさめた。その後、ユタ、オグデン、アイダホ、サンノゼの四班に別れて、各地で稽古を重ね親交をあたためた。

三月十一日に再び全員が合流し、翌日オールロースアンゼルスと二試合戦い、それぞれ九対〇、七対二で圧勝した。

帰路ハワイに立ち寄り、稽古や島めぐりをして十七日無事羽田に到着した。

△遠征メンバー▽

| | | | | | | |
|-----|----|----|----|------|----|----|
| (O) | 團長 | 児玉 | 一男 | (学生) | 山田 | 公平 |
| B | 師範 | 清水 | 直臣 | | 近藤 | 幸男 |
| | 監督 | 清 | 水 | | 藤原 | 芳隆 |
| " " | 手 | 友 | 田 | 義輔 | 大城 | 朝幸 |
| " " | 選 | 内 | 海 | 藤原 | 吉田 | 惠 |
| | 士 | 芳 | 勝 | 芳 | 本 | 君 |
| | | 賀 | 彦 | 隆 | 城 | 雄 |

遠征日誌

二月二十六日 午後六時結団式三田道場、五島会長、川島主事、佐藤師範及び石渡、成毛、長島、橋本、野口、清水、堀、他の各先輩方が出席、式後壮行会に移る。

三月一日 午前十時三田道場に集合、清水正一師範より出発に際しての御言葉をいただく。続いて全員で氣賀部長、生田体育会理事、佐藤塾長に挨拶。一時解散後二時半羽田へ集合先輩、父兄等多数の見送りを受け、午後六時半、予定より約一時間遅れて、中華航空 CI-002便で出発。

三月一日 午前十時サンフランシスコ到着 Uchida夫人他多数の出迎えを受け車で約一時間サンノゼのほぼ中央 Hotel Sainte Claire に着く。昼食後 Wakayama Park (日本庭園)、西部の Fastridge Shopping Center を見学。

三月一日 朝七時十五分バスで Lake Tahoe に向う、片道約四時間ネバダ州はカジノの本場である。

(学生) 全在憲

前田 雄二
金谷 重信浜田 喜重
沢原 俊英

夜一時頃ホテルに到着。

三月一日 午前十一時半より San Jose 大学の柔道部と合同稽古、午後ワイン工場を見学、夕食は Yoshi Uchida 氏より招待される。

三月四日 朝九時半より稽古、十一時半よりカルフォルニア大学を見学。

午後七時半試合、前座に Stanford 大対 San Jose 大の試合をやり続いて慶應対 San Jose 六対五の僅差であった。試合後 San Jose OB 招待の会食。

対サンノゼ大学対抗試合

三月四日 於 サンノゼ大学体育館

本 勢 6 — 5 サンノゼ大学

先鋒 ①浜 田 喜 重(2) 優勢 Bob Tambetti (3)

○ 沢 原 俊 英(2) 優勢 ① Keith Pickaro (2)

吉 田 君 雄(2) 優勢 ① Phil Yoshimura (2)

○ 全 在 憲(2) 合 技 Angelo Workings (2)

○ 藤 原 芳 隆(2) 巴 技 Dan Kikuchi (2)

○ 前 田 雄 式(3) 優勢 Greg Martin (2)

○ 大 城 朝 幸(3) 背負投 John Leek (2)

○ 近 海 藤 幸(3) 反 技 Howard Fish (2)

○ 内 勝 彦(3) 分 Bill Gouin (2)

山 本 恵(3) 引 分

Jim Pennington (2)

| | | |
|------------|----|-------------------|
| ①芳賀孝穂(4) | 優勢 | Luis Gonzales (2) |
| 副将 近藤正士(4) | ○ | Dare Long (2) |
| 大将 山田公平(4) | 内股 | ○ Doug Graham (2) |

三月五日 十一時車でサンフランシスコへ、Golden Gate Bridge, Fisher Mans Wharf, China Town などを見物。

三月六日 午前十一時から一時間稽古、三班に分れて行動。

Utah team 芳賀、山本、浜田は Ogden へ Idaho team 友田、内海、藤原、近藤、沢原は Boise へ飛行機で出発 San Jose team 児玉、清水、近藤、山田、大城、吉田、全、金谷、前田は Stanford 大学を見学。

三月七日～十日 Utah, Idaho 両チームは当地で日本系人の暖かい歓迎を受け各地を見物、主に夜に道場や学校で稽古をする。

San Jose team は九日まで San Jose に留まり九日夕刻ロスマントンセルベに向かう、May Fair Hotel に泊まる。三月十日 San Jose team はロマントンセルベ市内、ボリスマントンセルベを観光。

三月十一日 San Jose team はサンフランシスコを見

学。夜七時頃 Utah team がロスアンゼルスに合流、八時頃 Idaho team が合流ロスアンゼルス三田会の招待でリトルトーキョーで会食。

三月十二日 朝食後バス一台でロスアンゼルス市内見

学、メキシカン通り、ビバリーヒル、チャイニーズシアター、プロードウェイ、美術館など午後二時頃ホテルに

もどる。午後四時南加柔道大会を見学、午後六時オールロスアンゼルスと試合、第一試合九対一、第二試合七対二で勝った。試合後有段者会の人達と夕食を共にし、分散して市内見学、午前零時ミーティング。

三月十三日 午前十時四十分ロスアンゼルス発ホノルル着午後二時十五分山木さんが迎えすぐホテル NAPU ALANI へ、午後五時半ハワイ有段者の招待で日本料理をいただく。

三月十四日 午前中自由行動 午後三時十五分児玉团长、友田監督、内海先輩が帰国の途につく。残りの者は二人三人に分れハワイの各道場に分散稽古をし、各道場で夕食を招待される。

三月十五日 タクシー三台で島めぐり、夜まで自由行動。

三月十六日 午前中自由行動、午後四時十五分一時間

遅れてホノルルを出発、一路日本へ。

三月十七日 午後八時無事羽田到着。

近藤幸男 記

対オールロサンゼルス対抗試合

一回戦

三月十一日 於 ロスアンゼルス体育館

本 勝 9 — 0 オールロサンゼルスB

先鋒○浜 田 内股 William Richardson

①全 優勢 Mark Tsunowaki

○沢 吉 優勢 Ramon Rivera

近 藤(幸) 引分 Jerry Fujiwara

○藤 原 小内巻 Brad Karmann

○前 田 優勢 George Miyake

○大 内 優勢 Wayne Ryono

①山 城 優勢 Jay Takashima

○山 海 優勢 Bill Shears

大将○芳 田 優勢 Jerry Mealer

副将 大外巻 Ken Okada

大外巻 Ted Okada

二回戦

本 勝 7 — 2 オールロサンゼルスA

先鋒○浜 田 内股 Daniel Yamasaki

○全
○沢 吉 原 田
近藤(幸)
○藤 前 原 田
大城 海 本 賀
内山 田 芳
副將 山 田 大将
芳 将

優勢 優勢 優勢 優勢 優勢
肩固 優勢 優勢 優勢 引分
優勢 優勢 優勢 崩上四方
引分 大外刈 優勢 引分

○ Frank Morales
○ David Green
○ Bob Bond
○ Steve Hart
Tim Wyndham
William Kanffold
Daniel Zoak
Clyde Watanabe
Mike Garcia
Roy Sukimoto

第十一回東京学生柔道体重別選手権大会

四月二十一日 於 講道館

久々に本塾から決勝進出者が出了た。軽中量級の決勝戦で山田は新興の東海大・五反田に接戦の末、惜しくも敗れた。しかし、オリンピック候補の藏本を破るなど伏兵ぶりを發揮して準優勝を飾った。

△軽量級▽

一回戦 全在憲
山内直樹

○米山
○池田

△中量級▽

一回戦
一回戦

○沢原俊英
吉田君雄
○板敷金屋

○波多
○鯨島木下

△軽中量級▽
一回戦
一回戦
一回戦
一回戦

○高桑君昌
○山田公平
○山田公平
○山田公平

○木下近藤
○鯨島木下
三瓶近藤
○大川原藏本(拓大)

△四回戦
△四回戦
△四回戦
△四回戦

○山田田
○山田田
○山田田
○山田田

○五反田(東海大)
○大川原
○五反田(東海大)
○大川原

本塾对立教大学対抗試合

四月十四日

(試合記録不明) 於 三田道場
本塾 6 — 2 立教大学

本塾対明治学院大学対抗試合

五月六日

本塾 (試合記録不明) 於 清寧館
1 — 4 明治学院大学

第二十回関東高等学校柔道大会神奈川県予選

五月七日 於 横浜市立東高校

参加選手三六五名のうち上位三名が県代表として関東大会に推薦される。試合はトーナメント法、重量無差別で行なわれ、本塾では高木が四回戦まで進んだが、本大会で二位となつた南高の並木と対戦、関節技で敗れた。

一回戦

| | | | | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 木村 康治 | ○平野 寿雄 | 木村 康治 | ○平野 寿雄 | 木村 康治 | ○平野 寿雄 | 木村 康治 | ○平野 寿雄 |
| 優勢延長 | 内股 | 内股 | 内股 | 合技延長 | 内股 | 内股 | 内股 |
| ○高木 哲也 | ○高木 哲也 | ○高木 哲也 | ○高木 哲也 | ○高木 哲也 | ○高木 哲也 | ○高木 哲也 | ○高木 哲也 |
| 義誠也 | 義誠也 | 義誠也 | 義誠也 | 義誠也 | 義誠也 | 義誠也 | 義誠也 |
| 体落優勢 | 大外返 | 背負投 | 合技 | 抽選延長 | 内股 | 合技延長 | 内股 |
| ○金瀬子(城北高) | ○渋谷(磯工) | ○渡辺(須学) | ○志村(追浜高) | ○木村(新城高) | ○木村(新城高) | ○木村(新城高) | ○木村(新城高) |
| ○高木田明義 | ○高木田明義 | ○高木田明義 | ○高木田明義 | ○高木田明義 | ○高木田明義 | ○高木田明義 | ○高木田明義 |
| 石哲也 | 石哲也 | 石哲也 | 石哲也 | 石哲也 | 石哲也 | 石哲也 | 石哲也 |

三回戦

| | | | | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) | ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) | ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) | ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) |
| ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 |
| 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 |
| 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 |

二回戦

| | | | | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) | ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) | ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) | ○木瀬川(関東高) | ○高木(城北高) |
| ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 | ○湯本 |
| 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 | 先鋒 |
| 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 | 高木 |

四回戦

高木 誠 十字固 ○並木(南高)

第二十回

関東高等学校柔道大会神奈川県予選

五月十四日 於 平塚江南高校

上と体重別制になつており、本塾は三回戦に県代表となつた浜一商に敗れ、関東大会に出場出来なかつた。

一回戦

| | |
|------|------|
| 日吉高校 | 茅ヶ崎定 |
| 5 | 0 |
| — | — |
| 小川康司 | 港北高校 |
| 平本夫 | |
| 裏袈裟 | |
| 送襟絞 | |
| 背負投 | |
| 先鋒 | |

三回戦
副将○小泉
大将○木村

日吉高校

先鋒 湯本
副将 小木村
大将 木村

0—4

横浜第一商業高校

内股 崩袈裟
引分 合技
崩上四方 大将○岡

先鋒○石井 康之
副将○小川 神室 敏明
大将 正人 明宣

内股 前縫絞
副将 大将 若林庸夫

二回戦
本塾 0—1
早稲田大学

先鋒 浜田 喜広(2)
副将 藤原芳 隆(3)
大将 若宮茂 二(2)

内股 引分
外園 金子 隆志

○室井秀嗣(3)
宇津木房夫(3)
伊藤芳人(3)

第二十一回東京学生柔道優勝大会

五月十四日 於 早稲田記念会堂

一回戦

本塾 4—1

東京農業大学

| | |
|----------|------|
| 先鋒 ○山田公喜 | 一本背負 |
| ○浜田重平(4) | 背負投 |
| ○小林田豊多 | 後袈裟 |
| ○藤原浩修 | 崩横四方 |
| 岩宮直彦(2) | |
| 本崎藤彦(2) | |
| 一一彦(2) | |
| 三三彦(2) | |

一回戦

試合はトーナメント法で重量（七十kg以上）中量（六十kg～七十kg）軽量（六十kg以下）の各級に分かれ、各級二名出場できるが、本塾からは軽量、重量と一名ずつ四名が出場した。結果は軽量級の湯本が四回戦まで進んだにとどまった。

第二十一回神奈川県高等学校柔道大会 (全国大会予選)

五月二十八日 於 横浜市立南高校

内容的には早稲田を押していたが決定技が出ず敗れた。この結果敗者復活戦にも残ることが出来ず全日本への出場を果せなかつた。

| | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|-----|--|---|--|---|------------------------------|
| 日吉高校 | 4 | — | 0 | 一回戦 | 湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(東海相模) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(東海相模) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | 背負投 不戦勝 優勢 優勢 優勢 |
| | | | | 二回戦 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(横浜商工) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(横浜商工) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | 背負投 不戦勝 優勢 優勢 優勢 |
| 松田高校 | 4 | — | 0 | 三回戦 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(横浜商工) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(横浜商工) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | 背負投 不戦勝 優勢 優勢 優勢 |
| | | | | 四回戦 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(横浜商工) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | ○湯○木(鎌倉高) 本(生田高) 西平(向岡工) 鈴木(横浜商工) 伊奈(横浜商工) | ○小泉明義 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 ○木村康治 | 背負投 不戦勝 優勢 優勢 優勢 |

第二十一回神奈川県高等学校柔道大会

(全国大会予選)

六月十八日 於

日大藤沢高校

三回戦まで予想通り勝ち進んだが、準々決勝で日大藤沢に五対〇で敗れた。日大藤沢はこの年の関東大会で優勝しており、本大会でも失点〇と圧倒的な強さを見せた優勝した。

| | | | | | | | | | |
|--------|---|---|---|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 日吉高校 | 4 | — | 0 | 三四回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | 先鋒○高木 木村 野田 |
| | | | | 二回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |
| 日吉高校 | 4 | — | 0 | 二回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |
| | | | | 一回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |
| 日大藤沢高校 | 4 | — | 0 | 三四回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |
| | | | | 二回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |
| 日大藤沢高校 | 4 | — | 0 | 二回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |
| | | | | 一回戦 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 | ○高木 木村 野田 |

今年は春アメリカ遠征を行なつたこともあり、夏の遠征は、八月三日から京都で合宿を行ない、京都、福井、滋賀の府、県警と合同練習と試合を重ねた。

京都遠征合宿

| | | |
|-------|-------|-----|
| 副将 | 木村 | 小泉 |
| 大将 | 平野 | |
| 上四方 | 横四方 | 優勢 |
| 返技 | 副将○内村 | ○古田 |
| 大将○田 | 上耕 | 守俊一 |
| 副将○石垣 | 政美 | 則夫 |

対京都府警察学校対抗試合

本塾 12 — 3

先鋒 横内照治

固技 背負投

固技 合合

優勢 優勢

小内刈

合技 優勢

先鋒○徳永

○辻

○原田

黒浦

下岩

高中識

田中木宗

田崎橋西田

京都府警察学校

対京都府機動隊対抗試合

本塾 8 — 4

先鋒○野見山洋朗

○高桑君昌

足立和美

○渡辺雅信

○伊藤哲也

○植慶金

○高斎吉宗

○浅岡在

○垣田君和

○谷幸和

○田幸兼

○村重一

○田信守

○藤哲哉

○藤正也

○田哉也

○田信郎

| | |
|---------|-------|
| 副将○石垣 | ○高桑君昌 |
| 大将○高田信哉 | ○高田信昌 |
| 副将○金谷重信 | ○桑君昌 |
| 大将○石垣幸雄 | ○高田信哉 |
| 副将○高田信哉 | ○桑君昌 |
| 固技 固技 | 固技 固技 |
| 絞技 絞技 | 合技 合技 |

京都府機動隊

先鋒

○砂坂

○林細見

○山見

○山田

○川田

○長谷川

○田代

○崎中

○川木

○坂尾

○戸八

○田松

○川長

○谷西

○川見

○川細見

○井阿部

| | |
|--------|-------|
| 副将○龜井牧 | ○高田信哉 |
| 大将○内野 | ○桑君昌 |

対京都府警対抗試合

| | | | | | |
|------------------|----------|----------|------------|-----------|---------|
| 対滋賀県警対抗試合 | | | | | |
| 先鋒 | 本 | 副将 | ○ | 本 | 先鋒 |
| ○山若近浜大浅澤原見野 | 大城田井原宮田 | 前田 | 若浜近田山大井原見野 | 幸洋朝公喜喜茂幸俊 | 山見井原幸俊英 |
| 藤幸朝喜洋幸俊 | 田正雄 | 山田 | 田田本宮田 | 幸洋朝公喜 | 田幸俊英 |
| 幸茂喜朝公洋幸俊 | 雄典武恵 | 大田 | 本田 | 幸重男二平 | 大朗廣英 |
| 雄二重幸平朗廣英 | 副將 | 林田 | ○本田 | 幸重平 | 大朗廣英 |
| 4 合技分 | 4 引勢分 | 4 大外刈 | 4 片羽絞 | 1 優勢 | 1 優勢 |
| 優勢分 | 優勢分 | 払巻込 | 関節技 | 優勢 | 優勢 |
| 小股掬 | 優勢分 | 引分 | ○羽絞 | 優勢 | 優勢 |
| 6 優勢 | 6 優勢 | 引分 | 先鋒 | 6 優勢 | 6 優勢 |
| ○中寺○比安 | ○川貝 | ○○吉柳 | ○三科 | ○木 | ○京都府警 |
| 山島勝雨森桐添部道 | 常則 | 中西村岡上野島 | 西岡島科 | 島賀 | |
| 滋賀県警 | 副將 | 杉行上 | 行岡 | 行岡 | |
| | ○川貝 | ○吉柳 | ○三科 | ○木 | |

| | | | | | |
|------------------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 対福井県警対抗試合 | | | | | |
| 先鋒 | 本 | 副将 | ○ | 本 | 先鋒 |
| ○山前田雄 | 大林正典 | ○小林前 | ○大林前 | 惠 | 明光 |
| 野見山 | ○洋朗 | ○洋朗 | ○大久保 | ○大久保 | |
| 大城田 | 幸二 | 大林前 | 門前 | 水口 | |
| 近藤田 | 幸廣 | ○吉村安長 | 辻谷和林 | ○和林 | 福井県警 |
| 若宮田 | 大朗 | 水谷前 | 辻谷和林 | 辻谷和林 | |
| 幸茂朝喜 | 廣英 | ○野村長谷 | 和田和野 | 和田和野 | |
| 幸重雄典 | 英 | ○川添 | ○水谷和 | ○水谷和 | |
| 4 副将 | 4 大将 | 4 大将 | 4 大将 | 4 副将 | 4 副将 |
| 優勢 | 引分 | 引分 | 引分 | 引分 | 引分 |
| 引勢 | 優勢 | 優勢 | 優勢 | 優勢 | 優勢 |
| 3 優勢 | 3 優勢 | 3 大外刈 | 3 大外刈 | 3 大外刈 | 3 大外刈 |
| 3 優勢 | 3 優勢 | 3 副將 | 3 副將 | 3 副將 | 3 副將 |

第十五回東京選抜学生柔道優勝大会

九月九日 於 講道館

全日本大会に出場することが出来ず、選抜大会では何とか優勝を果すべく、全員一丸となつて大会に臨んだ。
一回戦はシードで最初の試合である二回戦では、宿敵早

稻田と対戦した。先鋒、次鋒と惜しくも早稲田のボイントゲッターに敗れ、二対一で惜敗した。

二回戦
一回戦 シード

| | | | | |
|-------|----|-----|---|-------|
| 先鋒 | 大城 | 朝 | 本 | 塾 |
| 副将○近林 | 浜田 | 宮本 | 幸 | 幸 |
| 大将正幸 | 喜茂 | 公典 | 重 | 二 |
| 引分 | 平 | 惠 | 平 | 1 |
| 体落 | 幸 | 典 | 重 | — |
| 大將副将 | 吉澤 | 吉 | 二 | 2 |
| 伊藤金子 | 新井 | 宇津木 | 秀 | 早稲田大学 |
| 芳隆園 | 房 | 秀 | | |
| 人志良 | 正 | 嗣 | | |
| 伸夫 | 伸 | | | |
| 人志一 | 夫 | | | |

全日本東西学生柔道对抗試合予選

十月七日 於 講道館

△軽量級▼

一回戦

○全野見山桑君
○渡辺在洋昌
○田辺憲朗昌

不戦勝

○下木涌井村山
陳谷井村山

二回戦
一回戦
△無差別▼

| | | | |
|------|------|-----|-----|
| ○前浜 | ○若沢 | ○山勝 | ○山渡 |
| 山前浜 | 若宮田原 | 田田 | 田田 |
| 本田雄喜 | 喜茂喜俊 | 公平 | 辺雅在 |
| 恵重 | 重英 | 公平 | 平憲 |

△中量級▼

| | | | |
|------|------|------|------|
| ○坂木 | ○坂木 | ○坂木 | ○小柏野 |
| ○佐藤本 | ○高野口 | 太田南出 | 崎党 |
| 山本 | 多 | 田 | 太田 |

この結果、軽量級において四年ぶりにキヤブテンの山公平が東西対抗戦出場権を獲得した。

第二十四回早慶対抗柔道戦

十月十日 於 講道館

今年は東京大会、東京選抜大会と二度も早稲田と対戦し、一対〇、二対一とそれぞれ敗れたものの内容的には決して遜色はなかった。この戦いを通じて苦い経験の中に打倒早稲田の気力に期待がかけられた。しかし試合は最後まで盛り上らないまま、五人を残して敗退した。本塾より部員数が少ない早稲田は、二部に落ちながら、早慶戦だけには負けられないという気概が五点の差に表わされたのであろう。

| | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|-------|----|-------|--|--|
| | | 審判員 | 八段 | 菊地揚二 | 八段 | 大滝忠夫 | | |
| 先鋒 | | | 八段 | 細川九州男 | 七段 | 柴山謙治 | | |
| 植山 | 浅木 | 伊藤渡 | 松永 | | | 早稻田 | | |
| 村内 | 井瀬藤原 | 辺 | 本塾 | | | 田園 | | |
| 一直幸 | 哲芳雅幹 | | | | | 関田 | | |
| 郎樹(2) | 広也(2) | 隆(2) | 夫(2) | | | 博良(2) | | |
| 背負投 | 引勢 | 優勢 | 腰分 | 上四方 | 引分 | 先鋒 | | |
| ○斎藤 | 瀬田 | 瀬田 | ○外園 | ○外園 | 小早 | 稻田 | | |
| 幸美(2) | 博良(2) | 一(2) | 博創 | | | | | |

副将

| | | | | | | | |
|--------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 前大山高 | 高近 | ○小全 | 慶沢 | 若若 | ○○金 | ○浜石 | 野見山 |
| 田城本桑 | 桑藤 | 藤林 | 林 | 田原宮 | 宮宮 | 谷藤 | 田垣 |
| 雄朝 | 君幸 | 正在 | 兼俊 | 茂重守 | 喜重 | 幸洋 | 和朗 |
| 式幸恵(3) | 昌(3) | 男(3) | 典(2) | 憲(2) | 信英(2) | 二(2) | 正(2) |
| 優勢 | 勢分 | 勢分 | 勢分 | 引勢 | 横四方 | 崩上四方 | 引勢 |
| 引勢 | 引勢 | 引勢 | 引勢 | 袈裟固 | 引勢 | 引勢 | 引勢 |

| | | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|------|-------|----------|
| 室室 | 大野鈴 | 鈴大 | 守新 | 新分 | ○三向 | ○春西 | 徳昌 |
| 井井 | 久保沢木 | 木原 | 田屋 | 井井 | 部部 | 野山 | 元(2)山(2) |
| 秀 | 正庸 | 英静 | 茂 | | | | 加茂下藤明 |
| 嗣(3) | 進次(3) | 一(2) | 徹(2) | 夫(2) | 満(2) | 寛彦(2) | 俊(2)人(2) |

大将 山田公平(4)

優秀選手

本塾 小林正典、浜田喜重、若宮茂二
早稻田室井秀嗣、瀬田博良、春日俊

日吉高校対早稲田高等学院対抗試合
(日吉祭招待試合)

十月二十二日於 日吉会堂

(点取勝負)

日吉高校

先鋒 ○ 高國
○ 高田

5 — 4

先鋒

大林渡湯○田○高國
沢辺本辺輪崎田
国斗俊公隆真英
光夫也庸太澄雄彰

5 — 4

先鋒
○ 高國
○ 高田

小内卷
大外返
上四方
崩裂表
合技
合技
引分

栗青西岡小藤ヶ島毛利
原木原田田村

不戦 不戦 不戦 不戦
不戦 戰 戰 戰
大將 副將 副將 副將
大將

吉澤 宇津木 林金子 室井
正房 克隆 孝子

伸夫(3) 明志(3) 明志(3) 明志(3)

(拔勝負)
副將 ○ 小泉明義
大將 ○ 平野寿雄
日吉高校

大將 副將
平小大林渡湯○田○高國○高國○高國○高國
野泉沢辺本辺輪崎田田田田
寿明国斗俊公隆真英雄彰
義光夫也庸太澄雄

7 — 5
不戦 不戦 引体落引分
不戦 戰 分落分
支釣込副將○
大内返合技
横四方合技
関節技合技
体落体落
大外刈先鋒

佐伯司
佐庄
早稲田学院

池田中田
岡島田田
佐木利伯
青木利伯
栗原原原
庄司司司
西原原原
大將

第二十四回全日本東西学生柔道対抗試合
並に全日本学生柔道選手権大会

十一月四日 於 大阪府立体育館

△軽量級▽

一回戦

山田公平(4)

優勢

○光本(天理大)

東京学生体重別準優勝の山田公平の活躍が期待された
が、一回戦で本大会で優勝した光本と対戦、熱戦の末、
時間切れ間際の大内刈技有で敗れたのは残念であった。

㊂ 例年のように春季、秋季の紅白試合を実施したが、試合
記録は残っていない。